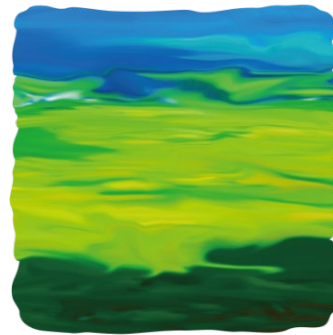


持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

2023年度第3四半期 決算概要説明資料



NORINCHUKIN

農林中央金庫

2024年2月7日

損益の状況

- 海外の高金利環境継続や円安等の影響により資金運用収益は増加した一方、外貨調達コストの増加による影響を受けて、経常利益・純利益は減益

【連結】

(単位：億円)

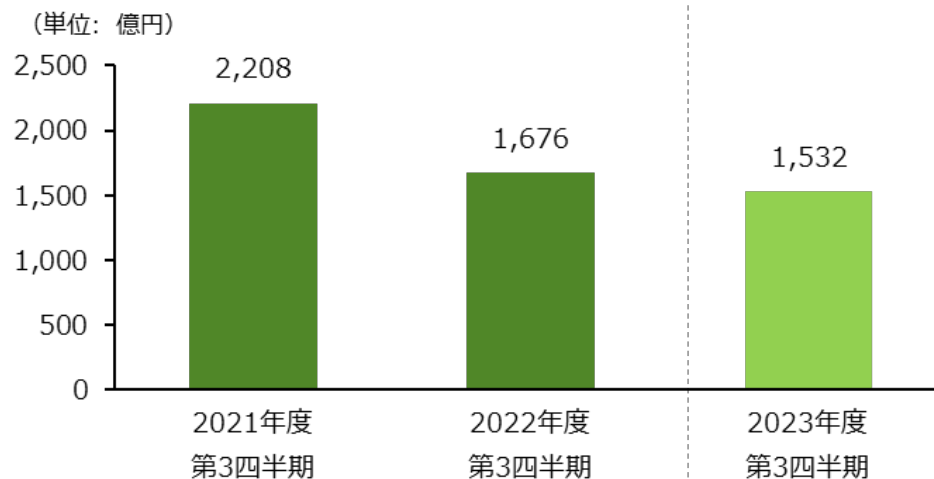
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
1 経常収益	17,596	22,429	4,832
2 うち資金運用収益	9,662	15,079	5,417
3 (有価証券利息配当金)	7,687	11,314	3,626
4 (貸出金利息)	1,518	2,979	1,460
5 経常費用	15,919	20,896	4,976
6 うち資金調達費用	8,895	18,757	9,862
7 (信連等調達費用)	1,962	1,930	▲ 32
8 うち事業管理費	1,170	1,252	82
9 経常利益	1,676	1,532	▲ 144
10 税引前純利益	1,908	2,043	135
11 親会社株主帰属純利益	1,593	970	▲ 622

【単体】

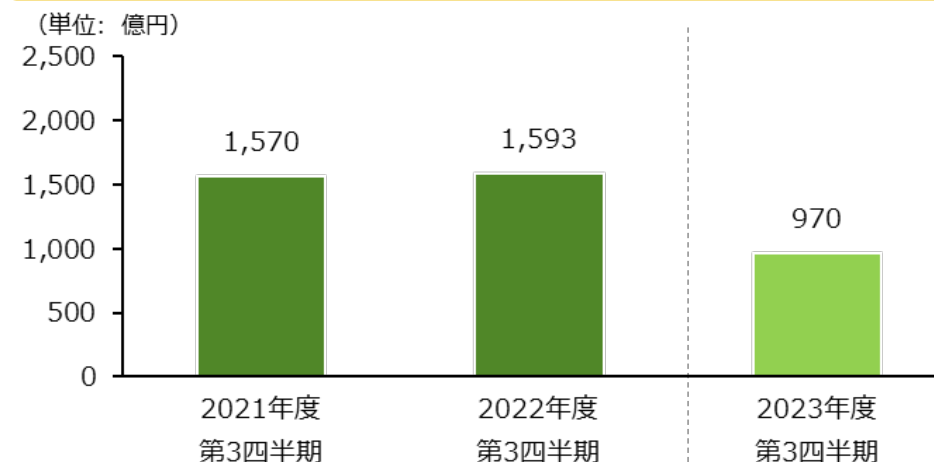
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
12 経常利益	1,540	1,369	▲ 171
13 純利益	1,528	891	▲ 637
【参考値（単体）】			
14 有価証券売却損益	458	4,298	3,840
15 投資信託解約損益および 金銭の信託内売却損益	▲ 289	1,387	1,677
16 与信関係費用（▲）（注）	58	46	▲ 12
17 有価証券償却（▲）（注）	0	24	24

注：与信関係費用、有価証券償却のマイナス（▲）は戻入

経常利益の推移（連結）



純利益の推移（連結）



バランスシート状況

- 健全性に重点を置いた財務運営を継続。慎重な市場運用資産の買入や円安の影響により、総資産は前年度末比増加

【連結】

(単位：億円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減
1 貸出金	174,141	177,530	3,389
2 有価証券	397,257	437,251	39,994
3 金銭の信託	84,193	103,096	18,902
4 現金預け金	224,306	207,201	▲ 17,105
5 その他	65,150	64,516	▲ 634
6 資産の部合計	945,049	989,595	44,546
7 預金等 (注)	646,068	660,946	14,877
8 農林債	4,540	3,855	▲ 685
9 売現先勘定	106,134	127,076	20,941
10 その他	131,570	144,054	12,483
11 負債の部合計	888,314	935,932	47,618
12 純資産の部合計	56,735	53,663	▲ 3,071

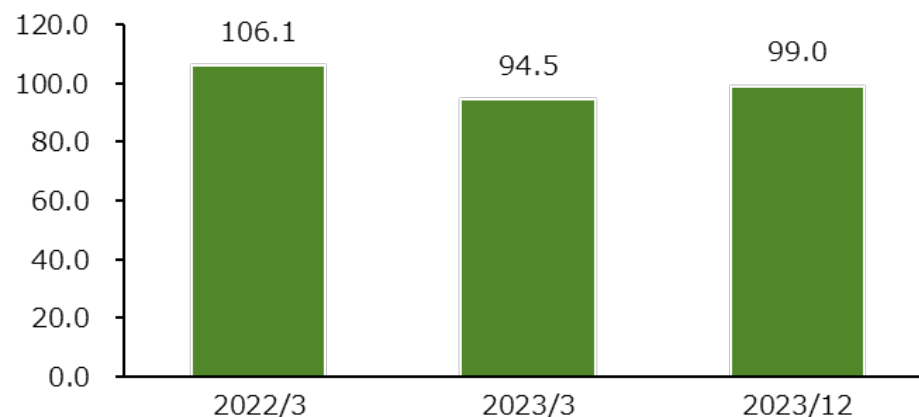
注：預金等は会計上の預金および受託金（会員からの短期資金受入が大半）

【単体】

	2023年3月末	2023年12月末	増減
13 資産の部合計	914,254	956,137	41,882
14 負債の部合計	859,553	904,817	45,263
15 純資産の部合計	54,700	51,319	▲ 3,381
16 その他有価証券評価損益	▲ 9,462	▲ 13,207	▲ 3,745

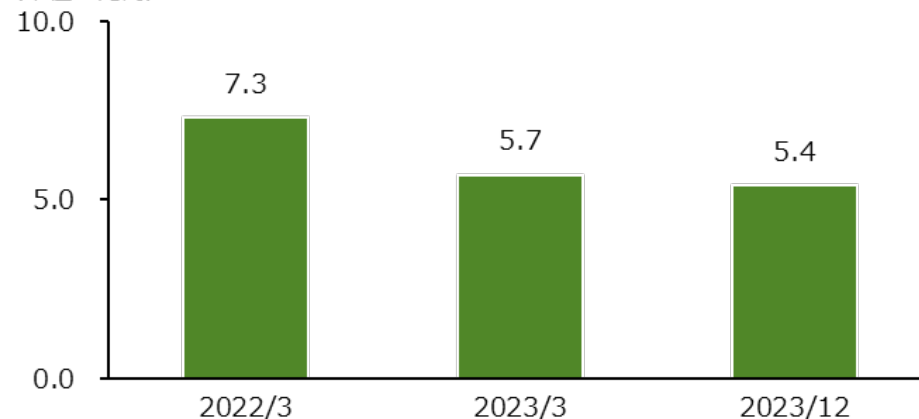
総資産の推移（連結）

(単位：兆円)



純資産の推移（連結）

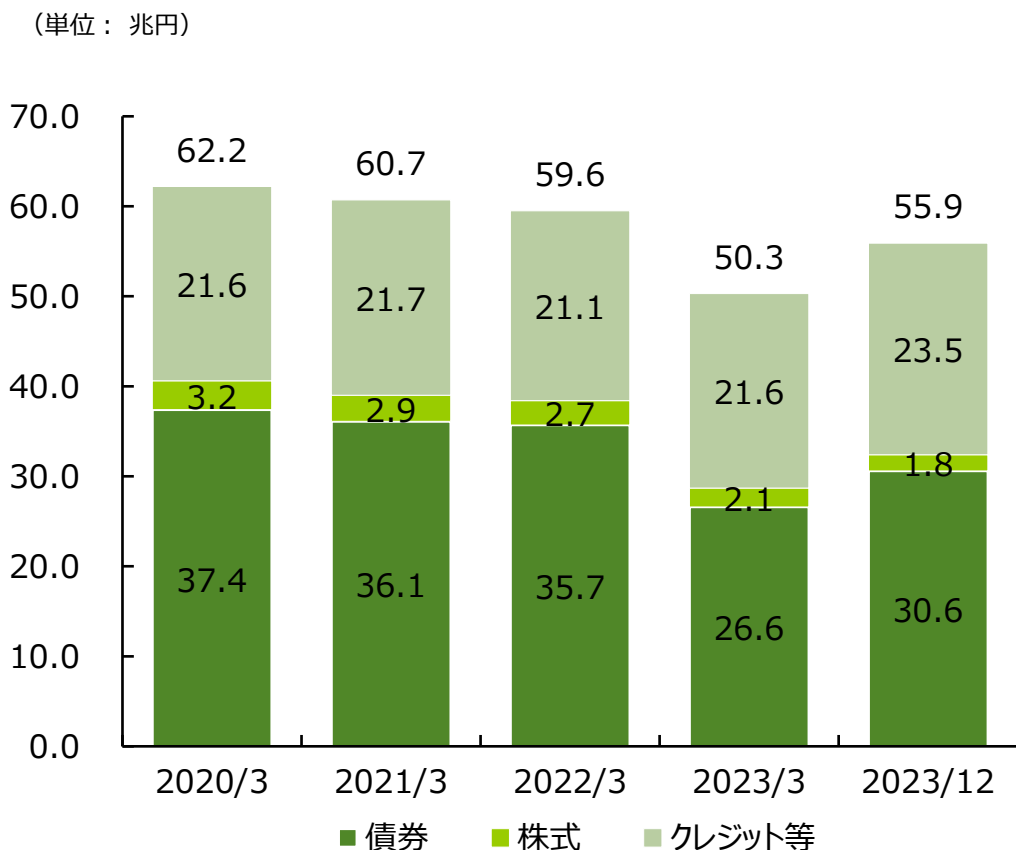
(単位：兆円)



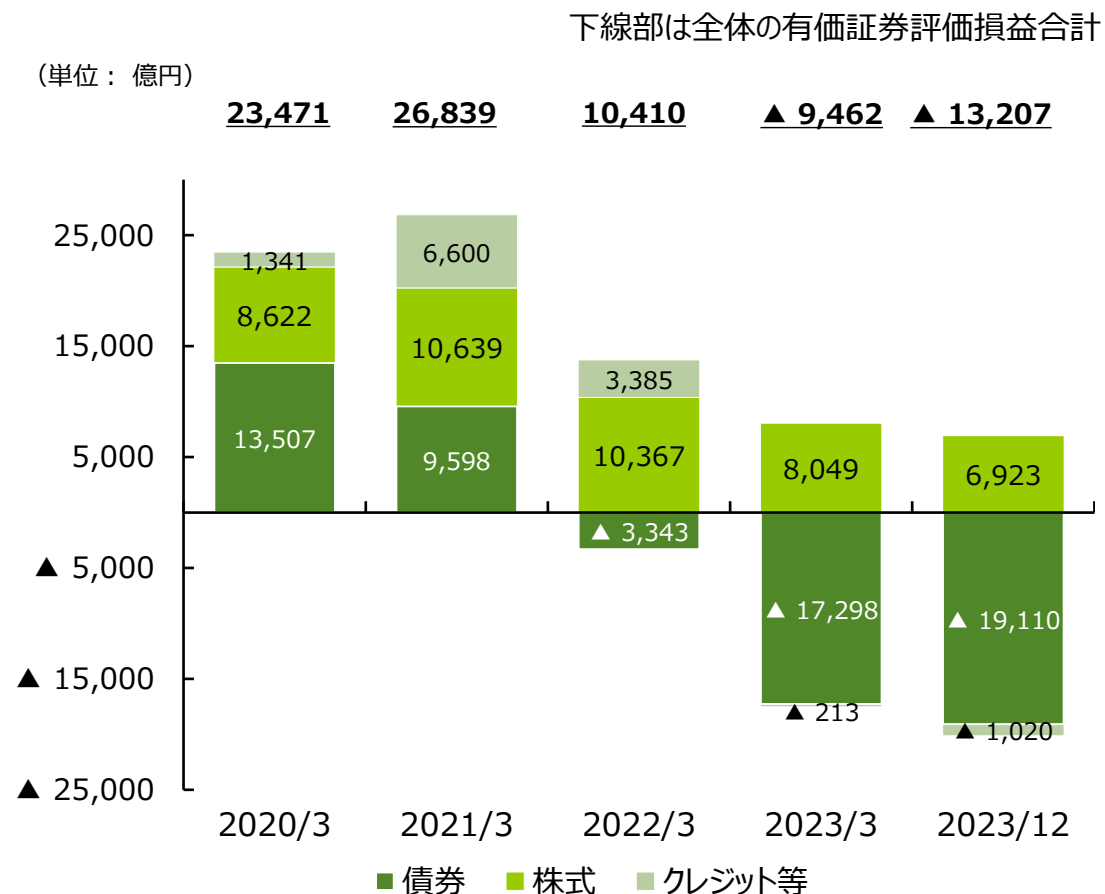
市場運用資産の状況（単体ベース）

- 市場運用資産残高は約55.9兆円と前年度末比で増加
- 有価証券評価損益は1兆3,207億円の評価損を計上

市場運用資産残高の推移



有価証券評価損益の推移

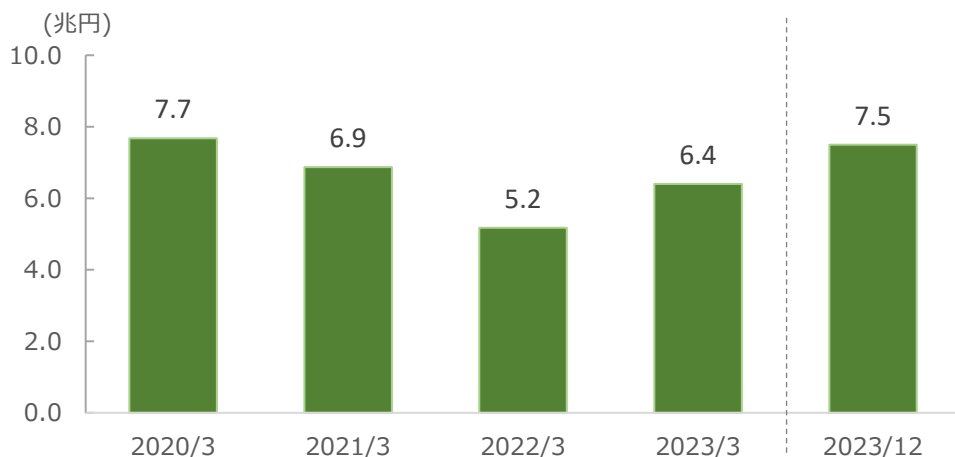


Appendix

市場運用資産（CLO）について

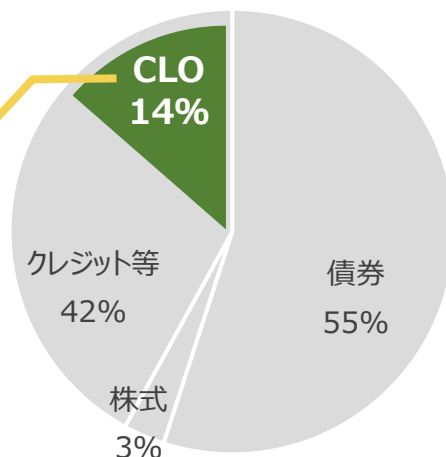
- 詳細な分析や適切なリスク管理態勢の下、リスク・リターンを勘案しながら慎重な投資を実施

投資残高の推移



市場運用資産に占める割合・資産内容

- 市場運用資産の14%
- 全てAAA格
- 全て満期保有目的



※四捨五入のため、各数値の合計が100%とならない場合があります

投資にあたっての分析・リスク管理

投資対象	<ul style="list-style-type: none"> • AAA格に限定
裏付資産	<ul style="list-style-type: none"> • 組入可能資産についての厳格な基準設定 • 裏付資産内の個別銘柄・業種の分析
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> • 信用補完水準等についての独自ガイドライン • 当金庫独自の厳格なストレステスト • ミドル部門による全件審査
運用マネージャーの選定	<ul style="list-style-type: none"> • 投資前のデューデリジェンスを通じた、運用能力・投資スタンスの確認
投資後のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> • マネージャーとの綿密なコミュニケーション • 投資ガイドライン遵守状況、運用方針、裏付資産の質等の確認

ご利用の皆様へ

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する予想、見込み、見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。